

令和5年度 伊勢市青少年問題協議会 概要

- 1 開催日時：令和6年1月29日（月）午後2時00分～午後3時00分
- 2 開催場所：御薊公民館 2階講堂
- 3 出席者：会長（鈴木伊勢市長）

出席委員 22名（会長含む）

大西委員 岡委員 大井戸委員 日置委員 大井委員 前田委員 奥田委員
中嶋委員 林委員 橋本委員 中村（光）委員 中村（基）委員 山本委員
村井委員 竜田委員 下委員 浦田委員 中村（充）委員 世古委員
辻村委員 岡村委員

欠席委員 2名

森委員 田中委員

事務局

西山学校教育課副参事、中川学校教育課副参事

沖塚参事兼社会教育課長 阿部課長補佐 岡主査

事務局より、会議資料等の確認後、委員 24名中 22名の出席があるため、条例の規定により、本日の青少年問題協議会が成立している旨の報告がありました。

4 現状報告等

1 あいさつ（鈴木健一会長）

2 報告事項

(1) 少年非行の現状について

・中村委員（伊勢警察署生活安全課長）より、治安面や非行に関し、平成10年当時と比較すると、10分の1程度となっているが、近年はもとよりコロナ禍後は増加傾向にあるが、警察だけの解決は難しく、地元の皆さまの協力と連携が必要であるとの報告と依頼がありました。

(2) 小中学校の生徒指導の現状について

・大井委員（伊勢市小中学校生徒指導協議会会長）より、年5回、生徒指導協議会を開催し、各校との情報交換を行っているが、最近はSNSを使用した問題に対し重要視している。また、コロナ禍後は、他校も含めた外部への拡がりが見られる旨の報告がありました。

(3) 児童虐待防止・貧困対策について

・大井戸委員（健康福祉部理事）より、子ども家庭庁の設置以来、市だけではない総合的な取り組みが進んでいる旨の説明がありました。

具体的には、相談機能として子ども家庭ネットワークや関係機関と情報共有を図りながら連携して対応し、LINE相談も行っている。

子どもの貧困対策について、生活困窮家庭を対象に、ひとり親世帯の小学生、中学生を対象にした学習サポート事業「学習塾エール」、子どもの居場所を兼ねた学習支援事業「プラス」等を行っている。

一方、伊勢市駅前に健康福祉ステーションが設置され、伊勢つながりサポートリストを使用した対応や、いじめ解決に「こどもいじめ相談窓口チーム」を設置した等の報告がありました。

(4) 伊勢市青少年相談センターの現状について

・青木相談員に替わって沖塚所長より、青少年相談センターの主な活動について、各小中学校等と連携した街頭指導、青色回転灯車両を使用した小学校下校時に合わせた通学路等のパトロール実施、相談業務が中心であること。

本年度は街頭指導についても高柳の夜店、宮川の花火大会等で実施したこと。

特に、青色回転灯車両を使用したパトロールについては、事案が発生した場合、危機管理部等、市の関係部署とも連携している旨の報告がありました。

5 議事

議案第1号 副会長の選任について

・事務局一任の声もあり、事務局案として、竜田委員の推薦があり承認されました。

議案第2号 令和5年度の主な活動について

・事務局より報告し、承認されました。

議案第3号 令和6年度青少年健全育成に関する方針（案）について

・事務局より方針案を提案し、承認されました。